



歴史文化学専攻

二松学舎大学大学院 文学研究科

修士課程

2026 (令和8) 年4月
開設予定

歴史文化学専攻は、歴史の

歴史文化学専攻主任からのメッセージ



歴史文化学専攻主任 野村 啓介 教授 賢者は歴史を学ぶ

「賢者は歴史を学ぶ」といいます。グローバル化が進展して異文化理解の必要性が高まれば高まるほど、また実学尊重の風潮がどれほど強くなるうとも、人間社会の来し方行く末を考究する歴史研究がその存在意義を失うことはありません。こうした信念のもと、歴史文化への学びを真に深めるため、本専攻では日本歴史文化学講座・東アジア歴史文化学講座・西洋歴史文化学講座・総合文化学講座からなる4講座が設置されます。充実の体制により、みなさんの研究を全力で後押しします。

設置の目的・養成する人材像

文学研究科修士課程歴史文化学専攻は、日本史・東アジア史・西洋史・思想文化史の研究を基軸に、国内外の歴史資料・文化遺産の多角的分析を通して、社会の発展と課題解決に寄与する人材を育成します。これにより高度な専門的学識を有する教員・職業人の養成を図り、生涯教育の一環としてより豊かな教養の場を社会に提供するとともに、次世代の文化の担い手として、広い国際的視野と深い洞察力を持ち、歴史文化研究の新たな展開を切り拓く人材を輩出することを目指しています。

カリキュラムの特徴

本専攻では、日本・東アジアおよび西洋の歴史や思想文化の研究を推進し、対象とする諸事象について独自の問題設定を行い、論理的な手続きに則して、創見を提示できる能力を涵養します。また、人文学的領域で「より良き社会を実現する目標を持って、グローバルに活動する」ために、国際的な視野により異文化理解を深め、世界の各文化相互のグローバルな影響関係を追究し、さらには共生社会を構築していくために、歴史文化を深くそして豊かに理解することを目的として教育・研究活動を行います。

専修免許について

中学校または高等学校教諭一種免許状を有している学生で、本大学院文学研究科（修士課程）において、所定の科目の単位を修得し、修士の学位を取得した学生は、有する免許状と同校種・同教科の専修免許状を取得することができます。

◎取得できる教員免許状

（専修免許状取得のためには専修免許状と同校種・同教科の一種免許状を有していることが必要です。）

専攻	中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状
	社会	地理歴史
歴史文化学専攻	○*	○*

* 教職課程認定申請中。なお、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

目指す進路等

修了後の進路としては、博士後期課程への進学、専門的学識を有する教員、専門的学識を有する職業人等を想定しています。本専攻では、歴史資料や文化遺産の分析から地域文化研究といった関連分野を横断するカリキュラムを整備しており、歴史教育・文化行政などの分野で活躍できる人材の育成を視野に入れ、教育機関のみならず、文化財保護にかかわる各種機関や博物館・文書館などの文化機関においても活躍できる知識とスキルを身につけます。

奨学金制度

1年次の春学期の成績を基に優秀な成績を収めた者、最大2名（各専攻）については、当該年度の授業料半額相当額が免除されます。毎年度末の資格継続審査で条件を満たすことで、次年度も減免措置が継続され、最大2年間減免措置が適用されます。

先を見つめ、社会に活かす。

研究活動支援制度

文学研究科では、有為な研究者育成に資することを目的に、研究活動の支援制度を設けています。

学会参加交通費支援

1人につき当該年度1回に限り
50,000円を上限として支給

画像・図版引用料支援

1人につき当該年度1回に限り
10,000円を上限として支給

論文掲載料・投稿料支援

1人につき当該年度1回に限り
10,000円を上限として支給

博士論文出版支援

1人につき1回に限り
200,000円を上限として支給

開講予定科目

科目区分	科目名
日本歴史文化学講座	講義 日本歴史文化学講義Ⅰ～Ⅶ
	演習 日本歴史文化学演習Ⅰ～Ⅶ
東アジア歴史文化学講座	講義 東アジア歴史文化学講義Ⅰ～Ⅳ
	演習 東アジア歴史文化学演習Ⅰ～Ⅳ
西洋歴史文化学講座	講義 西洋歴史文化学講義Ⅰ～Ⅳ
	演習 西洋歴史文化学演習Ⅰ～Ⅳ

科目区分	科目名
総合文化学講座	講義 日本文化史特殊講義Ⅰ・Ⅱ
	古文書学講義ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
	日本芸術芸能史講義ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
	日本史科学講義Ⅰ・Ⅱ
	日本芸能史講義Ⅰ・Ⅱ
	中国思想講義①A・①B・②A・②B
総合文化学講座	演習 日本文化史特殊演習Ⅰ・Ⅱ
	古文書学演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
	日本芸術芸能史演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB
	日本史科学演習Ⅰ・Ⅱ
	日本芸能史演習Ⅰ・Ⅱ
	中国思想演習①A・①B・②A・②B

教員一覧

①最終学歴 ②専門分野 ③最近の研究課題

研究指導 研究指導担当教員（希望する指導教員を選択する際に参考にご覧ください）。

研究指導 野村 啓介 教授／専攻主任 のむら けいすけ

担当予定科目 西洋歴史文化学講義Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ、
西洋歴史文化学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

①九州大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）②西洋史学
③近代フランス政治社会史、仏日外交史、ヨーロッパワイン文化史

研究指導 王 宝平 教授 おう ほうへい

担当予定科目 東アジア歴史文化学講義Ⅲ・Ⅳ、東アジア歴史文化学演習Ⅲ・Ⅳ

①北京外国語学院北京日本学研究中心言語文学研究科修了、博士（文学）（関西大学）②日中文化交流史③（1）大河内文書をはじめとした筆談資料の整理と研究、（2）近代日中文化交渉史

研究指導 小山 聡子 教授 こやま さとこ

担当予定科目 日本歴史文化学講義Ⅰ・Ⅱ、日本歴史文化学演習Ⅰ・Ⅱ

①筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科史学専攻修了、博士（学術）（筑波大学）②日本中世宗教史③（1）古代・中世社会でモノケがどのように捉えられ、いかなる対処がなされたのか、検討していく。（2）親鸞やその家族、門弟の信仰を理想化するのではなく、歴史の中に位置づけて論じることにより、彼らが生きていた社会について明確にしていく。

研究指導 中川 桂 教授 なかがわ かつら

担当予定科目 日本芸能史講義Ⅰ・Ⅱ、日本芸能史演習Ⅰ・Ⅱ、
日本芸術芸能史講義ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB、日本芸術芸能史演習ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

①大阪大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）②日本芸能史（近世芸能興行史・寄席芸能史）③近世大坂の諸芸研究、武家・商家の芸能享受

研究指導 林 英一 准教授 はやし えいいち

担当予定科目 日本歴史文化学講義Ⅴ・Ⅵ、日本歴史文化学演習Ⅴ・Ⅵ、
東アジア歴史文化学講義Ⅰ・Ⅱ、東アジア歴史文化学演習Ⅰ・Ⅱ

①慶應義塾大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得満期退学、博士（社会学）（一橋大学）②日本・東南アジア関係史③残留日本兵、南方抑留

麻生 将 専任講師 あそう たすく

担当予定科目 日本文化史特殊講義Ⅰ・Ⅱ、日本文化史特殊演習Ⅰ・Ⅱ

①立命館大学大学院文学研究科博士後期課程修了、博士（文学）②人文地理学、近代日本の地理思想とキリスト教思想③近代日本のプロテスタント教会の立地と都市形成との関係について

大庭 裕介 専任講師 おおば ゆうすけ

担当予定科目 日本歴史文化学講義Ⅲ・Ⅳ、日本歴史文化学演習Ⅲ・Ⅳ

①国士舘大学大学院人文科学研究科博士課程修了、博士（人文科学）（国士舘大学）②明治維新史、日本近代史③司法省や外務省など中央官省の形成／近代法の継受と固有の法制度形成／明治維新史を対象とした史学史

2026年度 入試情報

募集定員

研究科	課程	専攻	定員
文学研究科	修士課程	歴史文化学専攻	8名

入試日程

冬季試験（歴史文化学専攻のみ実施）	
願書受付期間	2025年11月17日（月）～ 11月28日（金）締切日消印有効
試験日	筆記試験・面接試験 2025年12月14日（日）
合格発表	2025年12月22日（月）
入学手続締切日	2026年1月9日（金）締切日消印有効
春季試験（国文学専攻・中国学専攻・歴史文化学専攻）	
願書受付期間	2026年1月13日（火）～2月6日（金） 締切日消印有効
試験日	筆記試験 2026年2月20日（金） 面接試験 2026年2月21日（土） ※社会人入試のみ筆記試験と面接試験を2月21日（土）同日に実施。
合格発表	2026年3月2日（月）
入学手続締切日	2026年3月9日（月）締切日消印有効

試験科目等

試験種別	試験科目
一般入試 ※1	○専門科目[日本史・アジア史・西洋史・思想文化史 から1科目選択（出願時選択）]（90分・200点） ○外国語[英語・中国語・古典中国語（漢文） から1科目選択]（60分・100点）※2 ○面接試験
社会人入試	○小論文（60分・100点） ○面接試験
外国人留学生 入試	○小論文（60分・100点） ○面接試験

※1 博士前期課程一般入試で本学出身者の場合は、試験科目等一部異なります。
詳細は入試課までお問い合わせください。

※2 次の外国語能力試験のスコア等が下記基準を超える者については、外国語の試験を免除します。
・TOEFL (iBT) 72点以上
・TOEIC (L&R) 785点以上
・IELTS 5.5以上

学費

修士課程				
	入学 手続時に 必要な金額	入学後 指定日まで に必要な金額	入学年度に 必要な 金額の合計	備考
入学金	250,000円	—	250,000円	本学出身者は 無料
授業料	260,000円	260,000円	520,000円	
施設費	50,000円	50,000円	100,000円	本学出身者は 半額
その他	11,430円	—	11,430円	本学出身者は 6,430円
合計	571,430円	310,000円	881,430円	

※2年次は授業料および施設費と、松苓会（同窓会）終身会費15,000円を徴収します。

※学納金は春学期分は6月、秋学期分は11月に納入。

私費外国人留学生対象 授業料減免制度について

本学では、大学院の正規の課程に在学する私費外国人留学生で、学業・人物ともに優れ、経済的理由により修学に困難がある者に対し、授業料の減免を行う「私費外国人留学生 授業料減免制度」があります。減免額は**最大で50%（授業料）**となります。

1. 対象について

本学大学院の正規課程に在学する私費外国人留学生（在留資格「留学」）で、出席状況、学業成績、家計状況等、定められた基準を満たす者。

2. 減免する額について

- ① 新入生の場合 → 当該年度授業料の30%
- ② 2年次生以上の場合 → 当該年度授業料の30%～50%

本制度の詳細は

本学HP国際交流センターサイトよりご確認ください。

二松学舎大学 留学生ハンドブック で検索

公式SNSで最新情報をチェック！

受験生サイト



公式 LINE



公式 Instagram



公式 YouTube



二松学舎大学 大学院／文学研究科

お問い合わせ 入試課

〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16
TEL.03-3261-7423 FAX.03-3261-8904
E-mail. nyushik@nishogakusha-u.ac.jp

ホームページ

<https://www.nishogakusha-u.ac.jp/admission/>

